



海外生活 エッセー

シドニー事務所

シドニー市の緑化計画

(一財)自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 福田 愛佳 (和歌山県派遣)

→ 空から見たシドニー

シドニーに到着して私がまず驚いたのは、緑の多さでした。シドニー空港着陸前に上空から見たシドニーの住宅街にはあちこちに木が植えられていて、直前までコンクリートジャングルの東京にいた私にとってとても印象的でした。

実際にシドニーで生活を始めてみて、あらためてさまざまな場所に植物が植えられていることに気づきました。建物の空きスペースには木や花が植えられ、街のいたるところにある公園には芝生が敷かれ、人々の憩いの場となっています。



高台から見たシドニーの湾岸エリアの風景

→ 緑を増やす取り組み

シドニー市は緑化の推進に力を入れています。シドニー市の長期計画と環境保全計画に基づく緑化計画は、「Greening Sydney Plan」と名付けられています。その目的は多岐にわたりますが、主に、景観を良くすること、木陰を増やすこと、生物多様性を守ることなどを目指して2012年に策定されました。

景観を良くすることはもちろんですが、木を植えて木陰を多くすることは、日差しが強いシドニーでは、市民

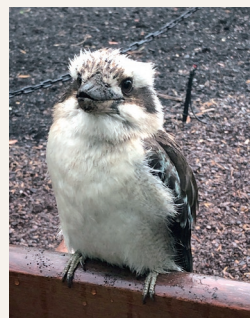
の日々の生活にとってとても重要なことだと感じます。木陰を多くすることで炎天下の体感温度を下げることができ、同時



海沿いの植樹された商業エリアの風景

に強い紫外線から身を守りつつ外出できるようになります。この「Greening Sydney Plan」では、木陰のあるエリアを2030年までに50%、2050年までに70%増やすことを目標としています。

生物多様性の点では、市内の公園等がさまざまな種類の生物の住処になっています。日本ではペットとして親しまれているようなカラフルな鳥たちも、身近に見ることができます。



公園にはさまざまな種類の生物が住んでいます

→ 緑が健康を守る

市内にたくさん整備されている芝生が敷かれた公園は、運動する場としても人気です。新型コロナウイルス感染拡大防止のために他人との距離を空ける必要があるところですが、広々とした公園で十分に他人との距離を確保しながら、散歩やヨガを楽しんでいる人をよく見かけます。緑化を進めることは、人々の健康を支えるのに一役買っているのだと感じます。コロナ下においても、身近な環境をうまく利用して積極的に運動し自身の健康の増進に取り組む姿勢を、ぜひ見習いたいと感じています。